

<平成27～30年度の食料分野における事業実績>

第3節 市民交流による田園都市・おごおりの推進

1. 農業・農村の有する生産及び多面的機能に対する市民の理解の促進

(1) 農業・農村に関する情報の提供

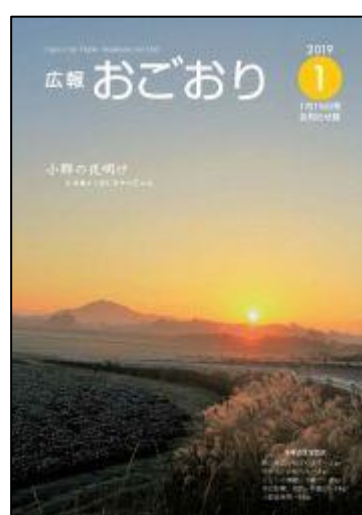
○農業・農村の持つ多面的機能について、行政等のメディアを活用し、情報発信を行い、市民の理解と交流の促進を図っていきます(収穫情報や農業の営みから生まれる農村風景、地域の祭り、伝統行事等)。

評価指標	現状値	目標値	最高値
目標の内容	現況年度	目標年度	達成年度
q. 農業・農村との交流イベント情報を提供	4回	20回	38回
○農業・農村交流イベント情報提供数	26年度	36年度	29年度

実績:27～30

○市広報や市フェイスブックにおいて、農村風景の写真掲載や本市農産物、イベントに関する記事をシェアし、PRに努めた。
また、マスコミ各社へ積極的にイベント等のプレスリリースを行った。

○農業に関わる広報おごおり・議会だより表紙写真



<平成27～30年度の食料分野における事業実績>

(2) 農村（生産者）と都市（消費者）との交流の促進

○福岡都市圏等の住民だけでなく、市北部の住民についても、農業体験や農業関係イベント等を通して都市と農村との交流を図っていきます。

実績:29～30

○認定農業者の会主催「男の料理教室」において、三井高等学校スイーツ部生徒と共に調理し、交流を深めた。

○男の料理教室

本市農業分野における労働環境は家族経営が多く、ライフスタイルが変化しても、農業に従事する女性は、家庭内の家事をも担う状況が未だに見受けられます。

こうした状況を改善するために、認定農業者の会では、男性農業者が料理を学ぶことができる場を設けることで、男女のワークライフバランスを考える契機にするようにしています。

29年度からは、三井高等学校家庭クラブ委員会からの地元の方々との交流事業を行いたいとの意向を受けて、小郡市健康を守る母の会と共に、認定農業者が持ち寄った食材と一緒に料理し交流を深めました。



<平成27～30年度の食料分野における事業実績>

実績:30

○認定農業者の会が、三井高校家庭クラブ委員会主催の災害料理教室に参加し交流を図った

○災害食料教室

三井高校家庭クラブ委員会の研究活動のテーマ「地域とつながろう」の一環として、3月28日に「災害料理教室」を開催した。災害で断水した場合水を十分に使うことができないおそれがあることから、なるべく水を使わずとも煮炊きができる調理法があることを知ってもらうとともに、日頃お世話になっている地域の方々を招いて交流を深めようというもの。透明ビニール袋の中に、食材と水分（米と水、魚と醤油出汁）を入れて密封した上で、熱湯でゆで上げる調理法。また、食器への盛り付けに透明ラップを用いるために食器も汚れず、水を使う必要がないことから、災害時に有効活用できると考えられます。

今回の献立は、ご飯とサバの煮魚、蒸しパン。本企画のために認定農業者の会として米2kgを進呈したこともあり、小郡市健康を守る母の会と共に招かれた。調理の待ち時間を活用して、耳が不自由な人とコミュニケーションを図るツール「筆談ボード」を参加者全員で作成した。

当日の様子は、福岡県防災賞受賞者（三井高校家庭クラブ委員会）を紹介する番組として、RKB毎日放送「福岡県庁知れた課」の取材を受け、「災害について考えましょう～福岡県防災賞～」と題して5月3日に放映されました。



【盛り付けもきれいにできました】

実績:27～30

○「JAみい農業まつり」において、牛乳・乳製品消費拡大消費者交流会を開催

○牛乳・乳製品消費拡大消費者交流会

三井地区農業振興協議会畜産部会の構成員として、毎年11月の第1土日に開催されている「JAみい農業祭り」で牛乳や乳製品の消費拡大を促進するために参加し、①牛乳の無料配布、②バターづくり体験、③ラップサイレーズ落書き、④のむヨーグルト販売を行っています。

＜平成 27～30 年度の食料分野における事業実績＞

2. 多面的機能を発揮させる環境整備の推進

(1) 農業・農村の多面的機能の維持・向上

○農業・農村の持つ多面的機能の発揮のため、多面的機能支払交付金事業を活用し、各地域における農地や農業用水利施設の維持保全の取り組みを支援します。

評価指標	現状値	目標値	最高値
目標の内容	現況年度	目標年度	達成年度
s. 多面的機能を発揮する環境整備を進めます	27 組織	29 組織	27 組織
①農地維持支払交付金事業に取り組む組織数	26 年度	36 年度	27 年度
②資源向上支払事業（共同事業） に取り組む組織数	24 組織 26 年度	25 組織 36 年度	24 組織 27 年度

○多面的機能支払交付金

農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民が享受しています。

しかし、近年の農村地域の過疎化や高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されています。

この交付金は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行って地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるように後押しする制度です。

平成26年度からの5年間（30年度まで）を1期として活動する団体を支援します。

「農地維持」は、農業者及びその他地域住民等で構成される活動組織（農業者のみの活動組織でも可）が、水路の泥上げや農道の路面維持、草刈など地域資源の基礎的な保全活動のことです。小郡市では27組織が取り組んでいます。

「資源向上（共同活動）」は、農業者及びその他地域住民等で構成される活動組織が、景観形成のための植栽や生き物調査など主に農村環境を保全するための活動です。小郡市では24組織が活動しています。

「資源向上（長寿命化）」は、工事を発注しなければならないような規模の大きい環境維持活動に対して支援する者です。小郡市内で取り組んでいる活動組織は8組織です。

【農地維持:道路補修】



【資源向上(共同活動)
光行チューリップ園】



<平成27～30年度の食料分野における事業実績>

3. 女性農業者の地位向上、男女共同参画社会の確立

(1) 女性農業者の地位向上

○女性農業者の企業を支援し、女性農業者の経営参画の機会の充実を促進します。

実績:27～30

○認定農業者の会による女性農業者の経営力向上及び
男性農業者の生活力向上を図る取組を行った

○パソコン講座

農林業センサスでは、女性が農業経営に携わっている農家ほど販売金額が大きいという調査結果が出ています。また、家族で営農されている農家は、女性が経理を担当していることが多いという現状があります。認定農業者の会では、パソコンでの経理処理やPOPづくりに役立ててもらえるようにパソコン講座を毎年企画しています。また、女性だけでなく、男性も参加できるようにしています。

○男の料理教室

【平成28年度受講風景】



平成30年度は、認定農業者の会の会員が作付した野菜を使用した①小松菜肉まん、②野菜サラダ、③あんまんの調理方法を学び、健康を守る母の会の方と共においしくいただいた。

【生地をコネコネ奮闘中】



【盛り付け中「おいそ～」】



<平成27～30年度の食料分野における事業実績>

実績:28～29

○「女性農林業業者の活躍促進事業」を活用

○女性農林漁業者の活躍促進事業

県は、「若者・女性が活躍する農業づくり推進対策」として、「本県農業の振興に向けた経営能力に優れた担い手の育成と競争力ある産地づくりのため」に「福岡県経営技術支援対策事業」を行っています。

本事業は、女性の視点や発想を活かし、能力発揮に向けた取組を行う女性農業者を支援することで、農業経営の発展を図ることを目的としています。平成27年度からの県の単費事業です。

本事業のメニューのひとつに「女性農林漁業者の活躍促進事業」があり、「新商品開発支援事業（28年度まで）」、「機器整備支援事業」、「商品改良支援事業（29年度新規事業）」といった複数の事業があります。

平成28年度に三沢の女性農業者（土地利用型）が新商品開発支援事業で麴納豆を開発、29年度に三沢の女性農業者（イチゴ）が商品改良事業でふるさと納税などの贈答用に丈夫で品のある発送用紙袋やパンフレットのデザイン作成をされています。



【パンフレット】



【発送用紙袋】

○家族での農業経営において就業条件等の取り決めを行う「家族経営協定」の締結を推進し、女性農業者を含む家族みんなが主体的に経営に参画できるよう努めます。

評価指標	現状値	目標値	最高値
目標の内容	現況年度	目標年度	達成年度
t. 家族経営協定締結数を増やします	21件	56件	32件
○家族経営協定の累計締結数	26年度	36年度	29年度

＜平成２７～３０年度の食料分野における事業実績＞

（２）女性農業者の地域における意思決定の場への参画促進

○農業委員をはじめとする農業政策の意思決定の場における女性農業者の登用を促進します。

評価指標	現状値	目標値	最高値
目標の内容	現況年度	目標年度	達成年度
u. 農政関連委員会等への女性登用率の向上	２５年度	３６年度	２９年度
○市が委嘱する 農政関連委員への女性の登用率	２８．６％	３６．０％	３１．５％

※小郡市食料・農業・農村政策審議会、小郡市食と農の複合施設調査研究委員会、
小郡市農業委員会、小郡市人・農地プラン検討委員会 以上の５つの委員会より算出